



ダウンロードできます

経鼻内視鏡検査説明・同意書

経鼻内視鏡検査は鼻から細い内視鏡（カメラ）を入れて上部消化管の病変を診断するための検査です。内視鏡検査は比較的安全な検査で、内視鏡検査医が行いますので、ご安心ください。検査医が必要と判断した場合、生検（組織検査）をさせていただきます。生検とは消化管の粘膜のごく一部をつまみ取り、病変の良性・悪性の診断や炎症の程度を見るための検査です。つまみ採るときには痛みは感じません。生検の結果は紹介元の医療機関に郵送します。結果が届くまでに約2週間かかります。なお生検当日は飲酒できませんのでご了承ください。内視鏡検査や生検により、ごく稀に合併症が起きることがあります。合併症には穿孔、出血、ショックなどがあります。

穿孔（消化管の壁に穴があくこと）

消化管の壁は薄いため壁に弱いところがある場合、穿孔が起きることがあります。この場合、緊急手術が必要となることがあります。

出血

内視鏡検査や生検などで粘膜下の血管を傷つけた場合、出血することがあります。内視鏡的処置や薬で治すことができますが、稀に輸血を必要とすることもあります。

経鼻内視鏡検査は鼻出血の危険性もあります。なお、抗凝固薬や抗血小板薬を内服されている方は生検による出血の危険性が高くなります。

ショック

検査や検査に使用する薬でショックが起きることがあります。薬のアレルギーのある方は問診票に記載してください。

日本消化器内視鏡学会の全国集計（2016年）では合併症の発生頻度は0.024%（約4千人に1人）、死亡率0%でした。万一、合併症が発生した時には最善の処置をいたします。

また、検査中の血圧上昇などにより、現在かかっている病気が悪化する可能性もあります。

上記事項でご不明な点や質問がありましたら、遠慮なくお尋ねください。

内視鏡検査の必要性と合併症について十分にご理解いただき、検査に同意いただければ、下記の同意書にご署名をお願いします。なお、同意を拒否することも、また、直前に同意を撤回することも可能です。

同意書

令和 年 月 日

紹介元医療機関

医師名

印

わたくしは上記の説明を理解した上で「上部内視鏡検査」を受けることに同意します。

本人

（自署）

続柄（ ）

（自署）

責任医師／内視鏡内科 主任部長 平賀 裕子

☎ (082) 254-1818 (代)